



株主の皆さまにおかれましては日頃よりご支援
とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

2012年4月より代表取締役社長に就任いたしま
した佐藤洋二です。

双日は、新体制の下、前中期経営計画『Shine 2011』
での取り組みを拡充させた『中期経営計画2014
～ Change for Challenge ～』を策定しました。
「成長軌道に向けた改革の推進」をテーマに、企業価値
の向上を目指し、さらなる飛躍につなげてまいります。

代表取締役社長

佐藤洋二

株主通信をリニューアルいたしました。

名称「双」には、双日が株主・投資家の皆さまとの
双方向コミュニケーションを目指す思いが込めら
れています。



新たに代表取締役社長に就任した佐藤洋二が、当期の業績と今後の見通しについてお話しします。

Q 2012年3月期の業績はいかがでしたか？
また配当についてもお聞かせください。

A 2012年3月期は東日本大震災やタイの洪水などの自然災害の他に、欧州の債務問題、新興国でも一部、成長スピードが鈍るなど、世界経済は不透明な1年でした。当社の業績については、税制改正の影響により繰延税金資産を取り崩したことから、36億円の当期純損失という結果になりましたが、前中期経営計画「Shine 2011」で

取り組んできた収益基盤の回復では一定の成果が出てきており、経常利益は前期比169億円増加の622億円（※）となり、収益力は着実に回復してきていると考えております。期末配当につきましては、当期純損失を計上したものの、事業そのものは順調に進捗しておりますので、予定どおり1株当たり1円50銭とさせていただきます。

Q 4月からスタートした「中期経営計画2014～Change for Challenge～」についてお聞かせください。

A まず前中期経営計画「Shine 2011」を振り返りますと、収益力の復元や当社が強みを持つ事業分野への投融资を行い、将来への布石を打つなど、収益基盤の構築に向け着実に前進させることができました。一方で、自己資本の拡充に後れを取るといふ、バランスシート面で新たな課題を残しました。

経営環境を見ますと世界経済はますます多様化し、構造変化のスピードも増してきております。

このような環境に対する対応力と、

変化をチャンスと捉える適応力を高めていく必要があると考え、策定したのが「中期経営計画2014」です。この中期経営計画では「成長軌道に向けた改革の推進」をテーマとして、リスクマネージ力の強化や人材育成はもろんのこと、資産の入れ替えにより資産の質と効率を向上させるとともに、集中事業領域を定め、資産の入れ替えで得た経営資源を戦略的に配分していきます。

これらを確実にやり遂げることで、当社の自己資本を積み上げ、財務基盤



社長プロフィール

佐藤 洋二 (さとう ようじ)

2012年4月より代表取締役社長に就任いたしました佐藤洋二です。強いリーダーシップを持ち、持続的な成長に向けてさらなる成長を続けてまいります。

出身地	熊本県
生年月日	1949年7月14日
略 歴	1973年3月 長崎大学経済学部卒業
	1973年4月 日商岩井株式会社入社
	2008年4月 当社代表取締役副社長 CFO
	2012年4月 当社代表取締役社長 CEO
趣 味	ウォーキング、ゴルフ
モットー	何事にも「誠実」に

Q 株主還元についての考え方をお聞かせください。

を拡充させるとともに、変化に強い収益基盤、人材、経営体制を構築し、企業価値を向上させ、さらなる飛躍につなげていきたいと考えております。

A 当社の配当に関する基本方針は、安定的かつ継続的に配当を行うとともに、連結配当性向を20%程度とする 것입니다。安定的、継続的な配当の支えとなるものは、持続的な成長です。そのためには新たな取り組みも必要であり、利益を原資として再投資を行っていくということだと考えております。従いまして、安定的、継続的な配当と持続的な成長を両立させるために、連結配当性向20%程度を標榜させていただいております。

※決算日の異なる主要な海外の子会社の決算日を統一したため、当該子会社は15カ月決算としております。



双日グループ 企業理念

双日グループは、誠実な心で世界の経済や文化、人々の心をつなぎ、新たな豊かさを築きつづけます。

双日グループ スローガン

New way, New value

双日は、2003年の設立以来、新しいビジネスと価値を創出する総合商社として、国内外約490社の関係会社とともに世界各国の拠点を通じ、機械、エネルギー・金属、化学、生活産業の4分野にて事業展開を行っています。



営業部門別経常利益構成比

(2012年3月期)



- | | | | |
|---|--|---|--|
| 機械部門 <ul style="list-style-type: none"> 自動車本部 インフラプロジェクト・産機本部 船舶・宇宙航空本部 | エネルギー・金属部門 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー本部 石炭・原子力本部 鉄鋼・金属資源本部 | 化学部門 <ul style="list-style-type: none"> 化学品本部 環境資材本部 | 生活産業部門 <ul style="list-style-type: none"> 食料本部 農林資源本部 コンシューマーサービス・開発建設本部 |
|---|--|---|--|



2011

10月

2011年12月

化学部門

リチウム化合物の供給・マーケティングに関し合意

当社は、豪州のタリソン・リチウム・リミテッド社と、同社が製造する炭酸リチウムの日本向け供給およびマーケティングに関して、合意覚書を締結しました。

当社は急速に成長する日本のリチウムイオン電池市場の需要に応えるため、新たなリチウム供給ソースの開発を検討しています。



鋳石加工工場イメージ図

11月

12月

2012年3月

機械部門

双日マリンアンドエンジニアリング (SOME C)、米国のバラスト水処理装置メーカーに資本参加

当社の船舶関連子会社であるSOME Cは、米国のバラスト水処理装置メーカーであるエコクロール社に対して出資し、アジア向けの販売代理権を獲得しました。

バラスト水とは、船舶が空荷の際に重しとして積載する海水のことで、到着港での排水時に周辺の生態系を破壊する恐れがあるため、世界的な環境問題として注目されています。今後SOME Cは、新造船・既存就航船へのバラスト水処理装置の販売を進めます。



バラスト水処理装置 Ecochlor BWTS

2012

1月

2月

2012年3月

エネルギー・金属部門

チリでの銅鋳床の発見

当社と日鉄鋳業株式会社は、チリ共和国での銅鋳山の探鉱を行っていましたが、このたび第一次試錐において高品位の新規銅鋳床を発見しました。

第一次試錐段階で有利な兆候が捕捉できたため、一般的な新規銅鋳床開発に比較し、短期間での効率的な鋳山開発が期待されます。今後とも試錐作業を進め、具体的な開発計画の推進を検討していきます。



銅鋳床試錐作業の様子

3月

2012年3月

生活産業部門

「シンプルマインド® クール (simple mind® cool)」の開発・販売

当社子会社の第一紡績株式会社は、気になる「汗」「臭い」を防ぎ、夏をより快適に過ごすための機能性インナー「シンプルマインド® クール (simple mind® cool)」を開発しました。

量販店等に加え、6月より同社の通販サイトでも販売を予定しています。紡績メーカーとしての技術をフル活用し、自社ブランドの差別化商品を低価格帯で販売いたします。



メンズおよびレディースアイテムを販売

ビジネスニュース

双日グループの2011年度下期の事業活動の一部をご紹介します。

連結損益計算書及び連結包括利益計算書(要旨)

(億円)

	2012年3月期	2011年3月期	増減額
売上高	44,942	40,146	4,796
売上総利益	2,316	1,927	389
販売費及び一般管理費	△1,671	△1,552	△119
営業利益	645	375	270
経常利益	622	453	169
当期純利益	△36	160	△196
包括利益	△176	△167	△9

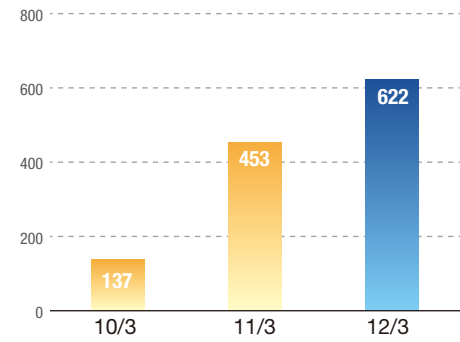
連結貸借対照表(要旨)

(億円)

	2012年3月末	2011年3月末	増減額
流動資産	12,981	12,667	314
固定資産	8,222	8,500	△278
繰延資産	3	3	0
総資産	21,206	21,170	36
流動負債	9,474	8,906	568
固定負債	8,427	8,709	△282
純資産	3,305	3,555	△250
負債及び純資産	21,206	21,170	36

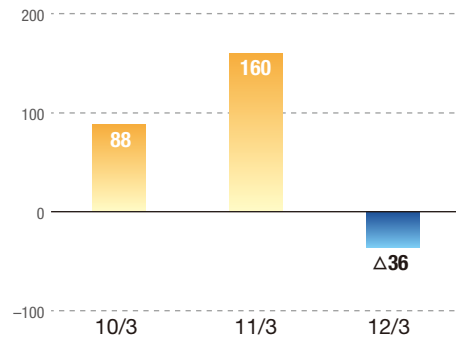
経常利益

(億円)



当期純利益

(億円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(億円)

	2012年3月期	2011年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	916	679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△423	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364	△721
現金及び現金同等物の期末残高	4,273	4,153

主要経営指標

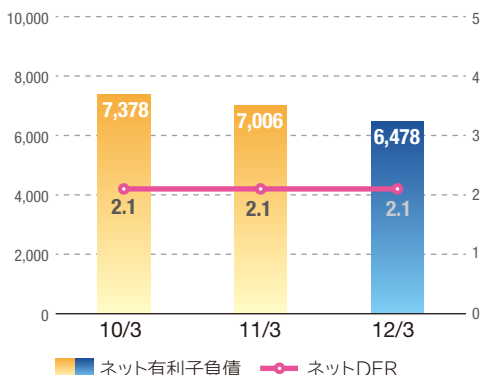
	2012年3月末	2011年3月末
ネット有利子負債	6,478億円	7,006億円
ネットDER(負債倍率)	2.1倍*	2.1倍*
自己資本比率	14.4%*	15.6%*

*少数株主持分を除いて計算しています。

ネット有利子負債およびネットDER

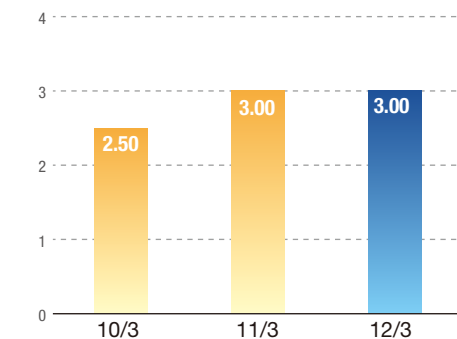
(億円)

(倍)



配当金

(円)



財務レポート

Q 決算のポイントは?

A 当社の取扱い商品の価格の上昇や需要の増加に加え、決算日の異なる主要な海外の子会社の決算日を当社の決算日に統一し、当該子会社で15カ月決算を実施したことにより、当期の業績は売上高・売上総利益・経常利益で増収・増益となりました。

一方、当期純利益は、税制改正による繰延税金資産の取り崩し等により、前期比で減益となりました。

Q 資産・負債の状況は?

A 資産については、税制改正による繰延税金資産の取り崩し、為替および株価の変動により投資有価証券が減少した一方で、たな卸資産の増加、有形固定資産の増加などにより増加いたしました。

一方、負債については、社債の償還などにより有利子負債が減少しましたが、支払手形および買掛金が増加したことにより、負債合計は増加いたしました。

純資産については、当期純損失および配当支払などによる利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の減少などにより、減少いたしました。

Q 2013年3月期の配当は いくらになりますか?

A 2013年3月期の配当につきましては、年間3円(中間1円50銭、期末1円50銭)を予定しております。

当社は、株主の皆さまに対して安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の最重要課題の一つと位置づけ、連結配当性向を20%程度とすることを「中期経営計画2014」における基本方針としております。

基礎知識 連結配当性向とは?

1年間の利益のうち、どれだけ株主に配当するかの割合を示した指標です。当期純利益に対して配当金支払額の占める割合になります。配当による株主還元と将来の成長に向けた投資のバランスをいかにとっていくかが企業の課題とされています。

$$\text{連結配当性向(\%)} = \frac{\text{当期の配当金支払額}}{\text{当期純利益}} \times 100$$

中期経営計画2014

～ Change for Challenge ～

さらなる飛躍に向けた新たな挑戦を果たすため、自らを変革し続けていく
この強い信念をもって、企業価値の向上を目指す

成長軌道に向けた改革の推進

資産の質を改善し、稼ぐ力を強化

成長のための投資継続（集中事業領域へ戦略配分）

創造性、効率性、高度なリスクマネージ力を持って事業展開ができる体制・組織の構築

グローバル化が加速する経済環境でも戦い抜ける事業モデルの変革と強い人材の育成

■ 投融資計画

資産の入れ替えを通じて、集中事業領域に経営資源を優先配分

	投資分野	方針／主な事業例
集中事業領域	安定的収益の拡大を図る事業領域	既存事業の拡大、資産の積み増しを図り、事業収益の拡大を図る 事業例：海外 IPP 事業、石炭権益・周辺事業、メタノール事業
	収益の拡充と構造転換を図る事業領域	既存の事業モデルの変革を図り、中長期での収益力強化を目指す 事業例：リチウム事業、汎用石油化学品事業、肥料事業、穀物トレード事業
	将来の成長に備える事業領域	新たな事業基盤を構築し、中長期的な視点での収益化を目指す 事業例：再生可能エネルギー発電事業、インフラ整備事業、鉄鉱石鉱山開発

集中事業領域
新規投融資 1,200 億円

+

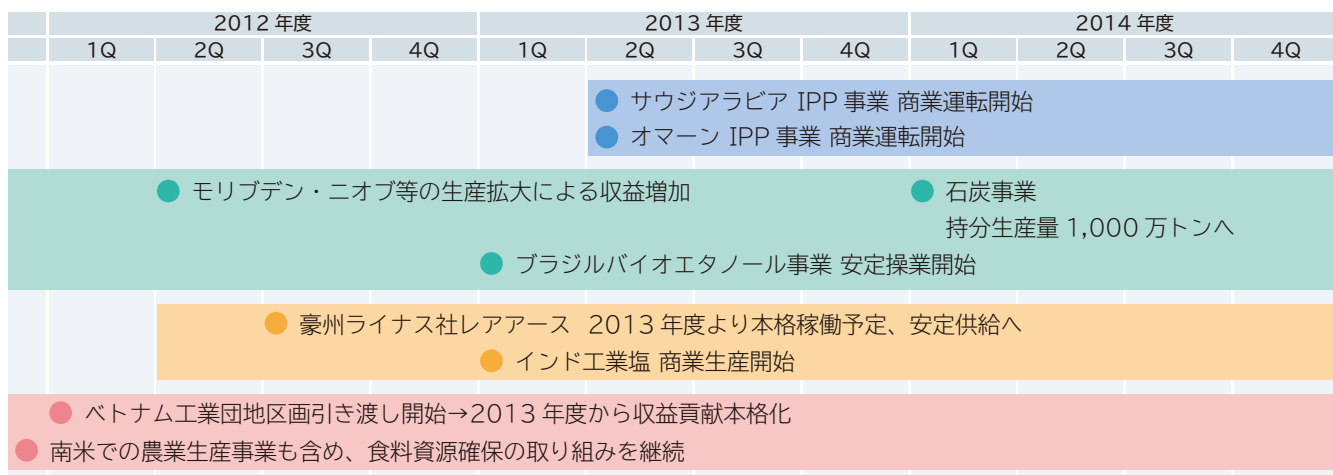
既存事業
追加投融資 600 億円

=

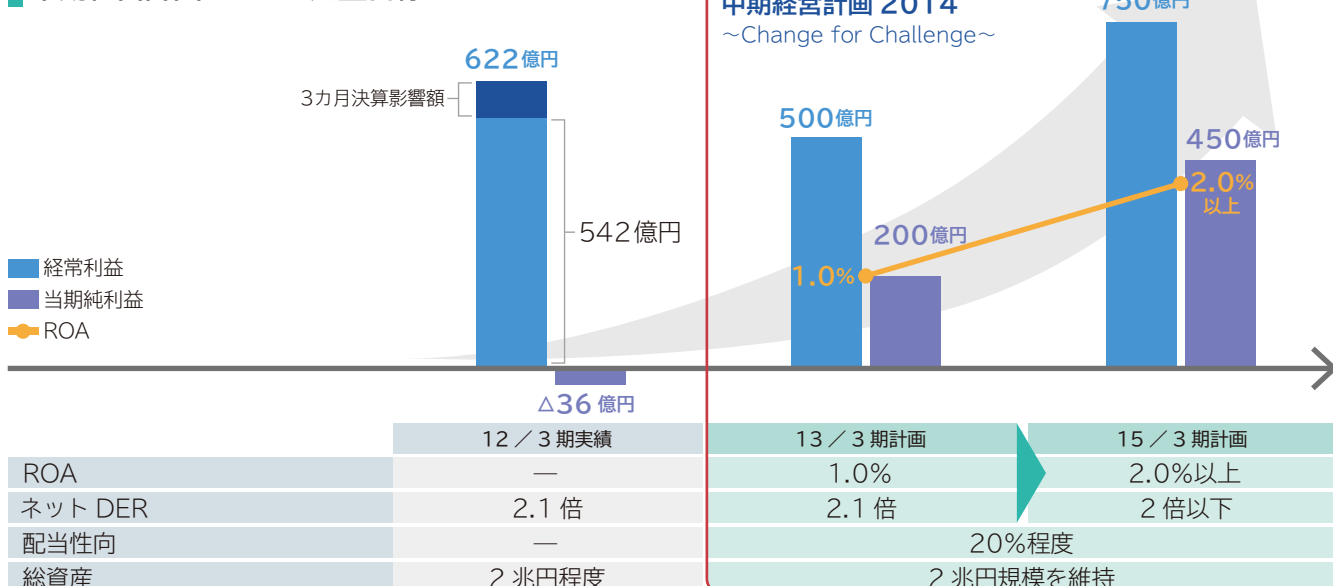
1,800 億円

■ Shine2011 新規投融資案件収益貢献ロードマップ

2013 年度より収益貢献本格化



中期経営計画 2014 定量目標



自己資本の積み上げによる財務基盤拡充

企業価値の向上、さらなる飛躍へ

さらなる飛躍に向けて

双日グループ 新経営体制ご紹介

2012年4月の新中期経営計画のスタートを機に、双日グループは新しい経営体制を発表しました。株主の皆さまに向けて、取締役および監査役のプロフィールと併せ、「飛躍に向けての一言」をご紹介します。

代表取締役会長 加瀬 豊

出身地 千葉県
生年月日 1947年2月19日

略歴
1970年 日商岩井株式会社入社
2005年 当社代表取締役副社長執行役員
2007年 当社代表取締役社長
2012年 当社代表取締役会長



私は2007年4月より5年間代表取締役社長として当社の持続的成長のための収益基盤の構築に努めてまいりました。社長在任中はリーマンショック、東日本震災等の環境の激変がありましたが、当社の収益基盤の構築には一定の成果があったと考えております。

このたび、会長に就任し、取締役会議長として業務執行全般の管理、監督を行い、当社グループのガバナンスを強化し、健全なる経営体制を維持することで、持続的成長を実現させ、株主価値向上を果たしていきたいと考えております。

代表取締役専務執行役員 CFO 茂木 良夫

出身地 神奈川県
生年月日 1952年4月10日

略歴
1975年 ニチメン株式会社入社
2006年 当社執行役員
2008年 当社常務執行役員
2012年 当社代表取締役専務執行役員




私はこのたび、財務最高責任者を拝命しました。リーマンショック・東日本震災・ユーロ危機など、毎年のように市場を揺るがす事象が起き、一瞬たりとも金融市場から目が離せない昨今ですが、このような激動の金融市場にあっても、わが社のバランスシートの健全性を保ちつつ、収益力のさらなる向上を図り、自己資本の拡充につなげ、結果として株主価値を向上させることが私に課せられた最大の責務と認識し、それに向かって日々努力いたします。

取締役(社外) 長島 徹

出身地 兵庫県
生年月日 1943年1月2日

略歴
1965年 帝人株式会社入社
2001年 同社代表取締役社長
2008年 同社取締役会長(現)
2009年 当社取締役




私は当社の社外取締役を3年間務めてまいりました。その間、グローバルゼーションの拡大、新興国の台頭などにより価値観やリスクも多様化し、企業経営も複雑さを増してきました。そのため帝人の経営で得た経験を基に、社外取締役として当社の経営に対して意見させていただき、企業価値の向上に努めてまいりました。

今後も株主の皆さまをはじめとしたステークホルダーを代表して、企業価値向上のために尽力してまいります。

監査役 塚田 尚

出身地 東京都
生年月日 1951年10月3日

略歴
1975年 ニチメン株式会社入社
2004年 旧双日株式会社執行役員
2005年 当社執行役員
2009年 当社常勤監査役




双日はその成立の過程で、大きな損失処理を余儀なくされた厳しい歴史を経て、今日があります。現在の双日はそうした経験を踏まえ、厳格なリスク管理の仕組みを持ち、その運用を行っています。一方で会社の経営が正しい形で運用されていくために、監査役に求められている役割は極めて大きいと認識しております。

私は、会社が真に信頼される経営を実現していくために、監査役としての果たすべき役割を、過たず、信念をもって果たしていく所存です。

監査役(社外) 町田 幸雄

出身地 東京都
生年月日 1942年7月3日

略歴
1969年 検事任官
東京地方検察庁入庁
2005年 西村ときわ法律事務所(現 西村あさひ法律事務所)入所
2008年 当社監査役(非常勤)



私は当社の社外監査役を4年間務めてまいりました。私はこの職責を果たす上で二つの点に留意すべきだと考えます。

一つは当社の事業はグローバルに展開し、複雑多岐にわたるので、役員とのコミュニケーションを深め、当社の実情を正確に把握することです。

二つ目は「会社の常識は社会の非常識」と言われる事例が発生し、会社の信用を傷つけ、株主価値を毀損させることがあります。私は「社外の眼」で当社の経営を監視し、誠実に職責を果たしてまいります。

代表取締役副会長 原 大

出身地 長野県
生年月日 1951年8月24日

略歴
1975年 株式会社三和銀行(現 三菱東京UFJ銀行)入行
2008年 同行常務取締役
2009年 同行専務取締役
2010年 同行副頭取
2012年 当社代表取締役副会長



私は長年にわたり、金融機関の経営に携わってまいりましたが、今回、当社の代表取締役副会長を拝命いたしました。

商社は多くのグループ会社を通じて、国内外、さまざまな地域でさまざまな事業を行っていることもあり、グループ全体としてのガバナンスの向上、企業価値の向上が重要になると考えております。

金融機関の経営に携わってきた経験を活かすとともに、気持ちを新たに、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、邁進してまいります。

代表取締役副社長執行役員 営業官掌 段谷 繁樹

出身地 島根県
生年月日 1948年9月9日

略歴
1971年 日商岩井株式会社入社
2010年 当社エネルギー・金属部門長
2011年 当社専務執行役員
2012年 当社代表取締役副社長執行役員



私はこのたび、営業官掌副社長を拝命いたしました。2012年度は、新中期経営計画の初年度となる非常に重要な年だと認識いたしております。


新中期経営計画のテーマである「Change for Challenge」の精神を全社に徹底させ、成長軌道構築に向けた改革を推進してまいります。

世界で戦い抜ける強い双日の基礎を確実に築いていくために、新たな決意をもって営業部門をリードしてまいります。

取締役(社外) 指田 禎一

出身地 千葉県
生年月日 1940年2月13日

略歴
1963年 日清紡績株式会社入社
2000年 同社代表取締役社長
2006年 同社取締役会長
2009年 日清紡ホールディングス株式会社相談役(現)
2009年 当社取締役



当社の社外取締役として3年間務めてまいりました。

その間、企業を取り巻く環境変化は激しく、価値観やリスクは多様化し、企業経営も複雑さを増しておりますが、収益力の強化、財務体質の健全化、そしてコーポレートガバナンスの一層の向上に向けて、日清紡ホールディングスの経営や、経団連での委員長で得た知見をベースに、当社経営に関し、忌憚のない意見を述べてまいりました。

今後も、株主の皆さまの代表として、企業価値向上のため、尽力してまいります。

監査役(社外) 鶴田 和彦

出身地 千葉県
生年月日 1947年10月26日

略歴
1972年 株式会社三和銀行(現 三菱東京UFJ銀行)入行
2002年 同行取締役執行役員
2009年 当社常勤監査役



何事にも「攻守」のバランスが肝要。監査役は正に守りの要。公正で透明度が高く、ハイクオリティな経営の実現に向け、さまざまな視点から経営を監視し「正道」に照らして決断してブレることなく毅然とした姿勢で臨みたいと願っております。

正道に勝る奇手妙案はないとの信念の下、株主さまをはじめ多くのステークホルダーの皆さまに、些かなりとも貢献できるような、また「双日」が社会から尊敬され存在感のある商社として発展し続けられるよう、頑張っていく所存です。

監査役 松本 順

出身地 北海道
生年月日 1949年9月30日

略歴
1972年 日商岩井株式会社入社
2005年 当社常務執行役員
2011年 当社顧問
2012年 当社常勤監査役



私は2002年以来、当社の執行役員として9年間、営業部門長や米州、欧州での総支配人を務めてまいりました。

商社はその活動領域が業種、地域、その展開手法において非常に広範で、結果として多くの要件や環境条件に影響を受けます。執行役員在任中に得られた経験を活かし、当社の経営の管理、監督を行い、当社の信用の維持向上に努めてまいります。

監査役(社外) 湯浅 光章

出身地 京都府
生年月日 1946年6月30日

略歴
1970年 ビート・マーウィック・ミッチェル会計士事務所入社
2003年 あずさ監査法人 代表社員
2009年 当社監査役(非常勤)



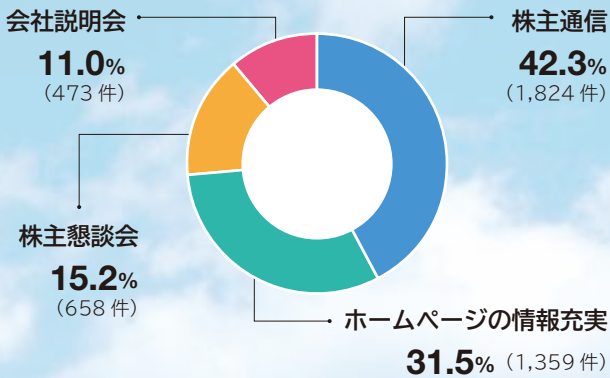
公認会計士として、国際的に活躍する企業外資系企業を中心に、36年余にわたり、監査、税務戦略立案、買収案件等の業務に従事してまいりました。

当社の社外監査役として3年間務めております。当社の活動領域・地域の拡大に合わせ、国際業務の経験を活かし助言をしてまいります。

昨今は、国際財務報告基準(IFRS)による財務報告が話題となってきたおりますが、今までの経験を基に当社の活動、財務報告の透明性の維持、向上に努めてまいります。



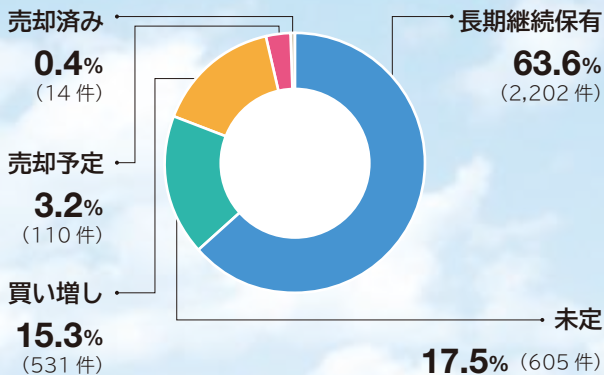
Q IR活動で特に充実を希望されることは何ですか？



『株主通信 2011冬号』において株主の皆さまにアンケートを実施し、約3500名の方からご回答をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介させていただきます。今後も、双日は双方向コミュニケーションを目指したIR活動の充実に取り組んでまいります。

Q 今後の保有方針は？



株主の皆さまより、日頃お寄せいただいているご意見や質問にお答えいたします。

Q 期末配当はいつから受け取れますか？

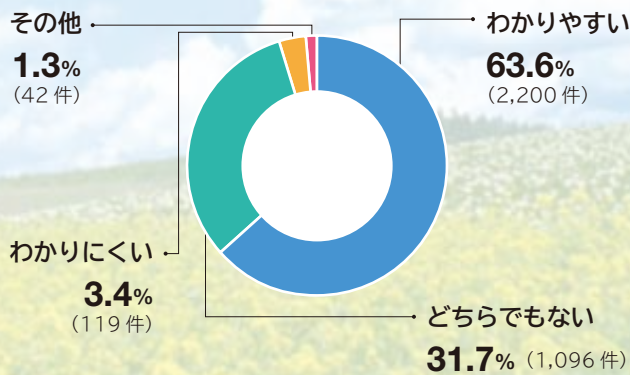
A 配当金は、2012年6月27日以降お受け取りいただけます。

なお、ゆうちょ銀行または郵便局で受領される場合の払渡しの期間は、2012年6月27日から2012年7月31日までとなっております。

<払渡しの期間終了後のお問い合わせ先>

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
土日、祝祭日を除く平日 9:00 ~ 17:00

Q 株主通信の印象はどうですか？



Q 双日の東日本大震災復興に向けた取り組みを教えてください。

A 当社グループ会社の双日食料水産は、岩手県釜石市の工場を再建し、生産を再開いたしました。

また、双日復興支援教育基金では、昨年度の第1期奨学生52名に続き、6月中旬に第2期奨学生を決定予定です。さらに社員ボランティア支援も継続中です。当社グループでは今後も、被災地復興のための支援を行ってまいります。



ハウステンボス内に設置された太陽光パネル

オランダの街並みを再現したハウステンボスは、日本有数のテーマパークですが、経済産業省から「次世代エネルギーパーク」としても認定されており、実証実験に適した環境を有しています。

第1回

ハウステンボス

長崎県佐世保市

当社は、長崎県佐世保市のハウステンボスにおいて、スマートグリッド(次世代送電網)を活用した次世代エネルギー技術の実証事業に参画いたしました。本実証事業は、電力の消費を抑制し、将来的に導入が期待される新エネルギーによる電力自給率を高めたスマートシティの構築・運用体系化を目的としています。



最終目標としては、節電・低炭素社会の構築を目指し、策定された電力供給モデルを、国内の他地域や海外へ展開することを検討しています。

こんなところに
双日!



個人株主・投資家の皆さまへ トップページ
<http://www.sojitz.com/jp/ir/individual/index.html>

新連載! 社長の部屋

新社長・佐藤洋二の人物紹介コーナーを開設しました。佐藤の人物像、経営に対する考え方、経営方針を6回シリーズで連載いたします。新社長の素顔にふれてください!



株式関連情報をはじめ双日グループの商品情報など最新情報をいち早くアップデート!



当社ホームページでは、最新情報だけでなく、株主の皆さまに当社をご理解いただくための情報も充実しております。ぜひご覧ください。

ホームページのご紹介



「3分でわかる今月の双日」



第9回 定時株主総会のご報告

平成24年6月26日、ANAインターコンチネンタルホテル東京
において当社第9回定時株主総会を開催しました。

決議通知

第9回定時株主総会決議ご通知

平成24年6月26日

平成24年6月26日開催の当社第9回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。
記

- 報告事項
 - (1) 第9期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)事業報告、
連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - (2) 第9期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記内容を報告いたしました。

- 決議事項
 - 第1号議案 剰余金の配当(第9期 期末配当)の件
本件は原案どおり承認可決されました。概要は、以下のとおりとなります。
期末配当に関する事項
 - (1) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額
当社普通株式1株につき

金1円50銭
(年間配当金 金3円00銭)
総額1,876,632,111円
(年間配当総額3,753,269,957円)
 - (2) 剰余金の配当が効力を生じる日
平成24年6月27日
 - 第2号議案 定款一部変更の件
本件は原案どおり承認可決されました。
変更内容の概要は、以下のとおりとなります。
本店の所在地を東京都港区から東京都千代田区に変更する。
 - 第3号議案 取締役7名選任の件
本件は原案どおり承認可決されました。
加瀬豊、原大、佐藤洋二、段谷繁樹、茂木良夫、指田禎一、長島徹の7名が選任され、
本日それぞれ就任いたしました。
 - 第4号議案 監査役2名選任の件
本件は原案どおり承認可決されました。松本順、町田幸雄の2名が選任され、
本日それぞれ就任いたしました。

以上



大阪 株主説明会 開催のご案内

2012年8月に大阪におきまして、株主説明会を開催いたします。

2012年5月8日に発表した「中期経営計画2014～Change for Challenge～」を中心に、2013年3月期見通しや今後の事業展開などについてご説明させていただきます。

当社をより深くご理解いただける機会になれば幸いです。

皆さまのご参加をお待ちしております。

- 会場収容人数の都合上、お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 抽選の結果は、入場票の発送をもってご当選者の発表に代えさせていただきます(入場票は2012年8月上旬発送予定です)。
- ご入場は、当社から発送した入場票をお持ちの株主さまご本人限りとさせていただきます。

開 催 日	2012年8月27日(月曜日)
時 間	午後2時～午後4時
場 所	大阪市内のホテル
当 社 出 席 者	取締役ほか
お 申 込 み 方 法	同封の返信用はがきに必要な事項をご記入の上、ご投函ください。
お申込み締め切り	2012年7月17日(火曜日) 必着



ご 注 意

- ※ 個人情報保護のため、同封の保護シールのはき離紙をはがし、返信用はがきの個人情報記載欄の上にシールを貼りつけてから、ご投函ください(切手は不要です)。
- ※ 会場までの交通費は株主さまご本人のご負担となります。
- ※ 参加申込用はがきにご記入いただいた個人情報は、議決権行使に関するご案内や株主さま向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。予めご了承の上、お申込みください。

本件に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
会社説明会専用窓口 株主さまサポートセンター
TEL: 0120-313-282(通話料無料) 土日、祝祭日を除く平日 9:00～17:00

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎事業年度終了後3カ月以内
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 (証券コード：2768)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.sojitz.com/jp/koukoku/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況

(2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	2,500,000,000株
発行済株式総数	1,251,499,501株
株主数	196,855名

会社情報

会社概要	(2012年3月31日現在)
会社名	双日株式会社
英文名	Sojitz Corporation
設立	2003年4月1日
資本金	160,339百万円
事業目的	総合商社
本社所在地	〒107-8655 東京都港区赤坂六丁目1番20号(注)
TEL	03-5520-5000(注)
FAX	03-5520-2390(注)
URL	http://www.sojitz.com/jp/index.html
拠点数	国内 7(支店、国内法人等) 海外 91(現地法人、駐在員事務所等)

(注)2012年7月17日より、本社所在地が東京都千代田区に変更いたします。
詳しくは、下記の「本社移転のお知らせ」をご覧ください。

役員

(2012年6月26日現在)

代表取締役会長	加瀬 豊 (かせ ゆたか)
代表取締役副会長	原 大 (はら たかし)
代表取締役社長	佐藤 洋二 (さとう ようじ)
代表取締役副社長執行役員	段谷 繁樹 (だんたに しげき)
代表取締役専務執行役員	茂木 良夫 (もぎ よしお)
取締役(非常勤)	指田 禎一 (さしだ よしかず)
	長島 徹 (ながしま とおる)
監査役	鴫田 和彦 (ときた かずひこ)
	塚田 尚 (つかだ たかし)
	松本 順 (まつもと じゅん)
監査役(非常勤)	町田 幸雄 (まちだ ゆきお)
	湯浅 光章 (ゆあさ みつあき)

新本社所在地

(2012年7月17日より)

〒100-8691
東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
TEL：03-6871-5000(代表)
FAX：03-6871-2430(代表)



東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C3出口直結
東京メトロ 丸の内線 「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩3分
東京メトロ 銀座線 「虎ノ門」駅 9、1出口 徒歩3分
都営地下鉄 三田線 「内幸町」駅 A6出口より日比谷シティ経由で直結
JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ 「新橋」駅 徒歩10分



新本社外観

双日は2012年7月17日に、現在の東京都港区の赤坂の本社から、官庁街に近い千代田区内幸町に移転します。本社機能を集結し、業務効率を高め、さらなる飛躍に向け、新天地にて全社一丸となって邁進いたします。

本社移転のお知らせ

2012年度上期 株主カレンダー

5月 8日	2012年3月期 決算発表
6月26日	第9回 定時株主総会
8月 2日	2013年3月期 第1四半期決算発表
8月27日	大阪 株主説明会

次回よりリニューアルした「双」は
いかがでしたでしょうか。
株主の皆さまよりいただくご意見を
活かしながら、双方向コミュニケーション
の場としてさらなる内容の充実
を図ってまいります。
次号は2012年12月初旬発行予定
です。どうぞご期待ください。
双日株式会社 IR室

編集後記

将来情報に関する注記

本報告書に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。



双日株式会社